

どうなってる？市の事業

～市の16事業（仕事）を議会がチェック・評価しました～

なぜ評価する？

決算審議の充実

佐賀市では、新しい行政運営の手段として、平成17年度決算から個別事業（約1000事業）の評価が実施されています。しかし、これは市当局の内部評価であり、一方的な評価になる恐れがあります。このため、議会として市当局と異なる視点から評価を行い、その問題点等を明らかにしようとするものです。

これまでの決算審議では、全体把握はできては個別・具体的な事業レベルまでにはなかなか目が届かないという課題がありました。しかし、この取り組みにより一部の事業だけでも事業レベルまで審査の目を向けることで、議会もより適切な意見が可能となり、市当局に緊張感をもった適正な事業運営を促す効果も期待できます。

議会意見の予算への反映

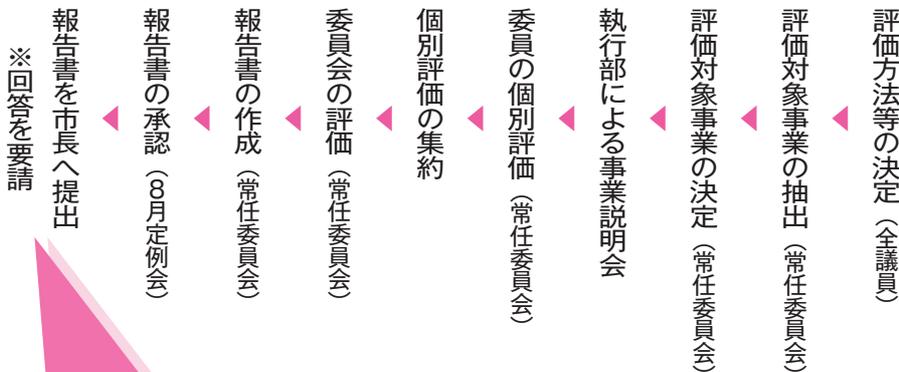
評価を実施した事業については、評価結果や意見・提言等をまとめた報告書を市長へ提出するのとあわせて、次年度予算を審議する3月定例会前までにその回答を求めます。

この回答をもとに、議会では予算審議を行います。

佐賀市総合計画の進捗管理

市当局の事業は、総合計画（中長期のビジョン）に即して実施されています。その意味で事業を評価していくことは、この計画の進捗に議会が一定の関与をすることになります。

評価の流れは？



評価の方法は？

事業の現状評価

市当局が作成した事業評価表をもとに、事業説明会で詳細な質疑を行い、その事業の現状を①目的妥当性（市がやる必要性等）②有効性（成果の有無等）③効率性（経費・労力の妥当性等）④公平性（受益の偏り有無等）の4項目の視点から、次の6段階で評価しました。

- 1 極めて良好
- 2 良好
- 3 おおむね良好
- 4 いくぶん問題あり
- 5 かなり問題あり
- 6 不適切

事業の今後の方向性判定

事業の現状評価をもとに、その事業の今後の方向性を次の7段階で判定するとともに、事業改善・次年度予算への反映等の意見・提言を付し、市長に回答を求めました。

- 1 拡充
- 2 やり方改善
- 3 活動量の縮小
- 4 終期設定
- 5 休止
- 6 廃止
- 7 現状どおり

議長から市長に 評価報告書を提出



8月定例会閉会日
(9月25日)

○評価報告書＜抜粋＞

事業	区分	現状評価	今後の方向性	
			判定	意見・提言など（議会として市長に回答を求める）
定住促進対策事業		おおむね良好	やり方改善	①人口減少幅が緩やかになった要因が、本事業の成果と関連しているかがわからない。社会動態等における転入・転出等の増減に関して、詳しい分析が必要である。②過疎債を活用した定住促進対策事業と密接に関連しているため、本事業単独での成果が捉えにくい。
世界遺産登録推進事業		おおむね良好	やり方改善	①登録の成否に関わらず、決定後も佐賀の歴史遺産として管理・保全を行う必要がある。②啓発活動の一環として、市民参加型のイベントなども企画・検討すべきである。③登録推進に向けて、関連する他都市と連携強化を図るべきである。
防犯灯設置助成事業		良好	拡充	①地球温暖化防止策の一環として、防犯灯のLED化を進めることが求められている。補助メニューの見直し等でLED化を推進することが望ましく、そのためにも自治会において防犯灯に要する経費の内訳、詳細についての検証を行う必要がある。
協働ステップアップ事業		良好	やり方改善	①中間支援組織に業務委託して取り組んでいるが、今後はそうした人材を市内で育成していくことも必要である。②企業の新人研修で協働を学んでもらうなど、民間事業者への働きかけが重要である。
高齢者スポーツ大会		おおむね良好	やり方改善	①各地域への補助金の配分方法については、人口割に加え、実績割を導入するなどの工夫が必要である。②開催方法について統一基準を定め、各地域の実情に応じた支援を必要に応じて行いながら、各地区の自立性を高める必要がある。
高齢者バス優待乗車券購入助成事業		良好	拡充	①寝たきりや介護状態でバス利用が不可能な方は、「紹介不要」の連絡をもらう等、経費節減に関する取り組み、工夫が必要である。②対象年齢の引き下げや他バス会社への制度拡充により利用者をふやしていく必要がある。
学校給食食材の地場産品導入による食農教育の推進		良好	拡充	①重量ベースの指標だけでは成果の把握としては不十分である。②発注のやり方の改善や納入システムの構築など、関係部署と連携して強力に進めていくべきである。③「食農教育」との連携にも力を入れるべきである。また、地場産品直接導入校が10校にとどまっており、これをふやす努力が必要である。
総合型地域スポーツクラブ支援事業		いくぶん問題あり	やり方改善	①市民の認知度が低いため、小学校校区にこだわらず、中学校校区など広範囲とすることにより、指導者の確保等の問題をクリアすることが必要である。②地域の生涯学習型スポーツという観点で、市内の部署間で連携すべきである。③専門的な知識を持った人材の育成が必要である。
水路浚渫事業		良好	拡充	①水路浚渫の要望は日増しに増加している。今後も引き続き必要な事業である。②事業への補助率については、人力施工の補助はもう少し手厚くできないものか検討するべきである。③法面崩落防止工事も検討するべきである。
アジアの観光客誘致事業		おおむね良好	やり方改善	①成果の水準は目標値に達しているが、目標値の設定自体が低い。目標値を高く設定するべきである。②佐賀県だけでなく、福岡市など他市町との連携強化により、さらに成果を向上させることができる。③外部の専門的な知恵を借りる方法を検討する必要がある。ただし、現状の人員費は当然に必要な範囲で、特に問題ない。④政治的に中国との関係が悪化しており、今後は台湾や東南アジアに向けた展開をするべきである。
企業誘致推進事業		良好	拡充	①佐賀市にとって重要な事業であり、事業費の削減は考えられない。さらなる拡充が求められる。②積極的な誘致を行うためには、専門スタッフを置くことも重要である。現進出企業のOBなどの活用等により、さらに人員をふやして取り組むべきである。
地域経済構造調査事業		おおむね良好	廃止	①当事業は調査事業であるため、現時点での実績水準は判断しにくい。今後、調査結果の分析に基づく施策が重要となる。②調査結果についてはわかりやすく公表するべきである。③既に調査は終了しており、調査・分析結果を今後の経済対策に生かしていくことが重要であることから、今後は、この結果をどのように活用し、事業を展開しているのか具体的な成果を報告すべきである。
交通安全対策事業（道路整備課）		良好	やり方改善	①交通安全指導員や、民間の企業や団体、住民等の力を活用すべきである。②交通安全施設等の老朽化が進行しているため、今後積極的にその対策に取り組むべきである。
放置自転車等対策事業		良好	やり方改善	①民間の企業や団体等の力も活用し、市内の必要箇所の対策がなされるべきである。②景観的な視点やバス事業との連携も考慮すべきである。③総合的な視点から、放置自転車を減少させる取り組みを行うべきである。
公園維持管理事業		おおむね良好	やり方改善	①公園管理委託費とその業務の実績がかけ離れている箇所も見られ、検証が必要である。②周辺住民との連携の強化が必要である。③公園施設（遊具など）をデータベース化して、老朽化による危険性の把握に努め、事故防止を図る必要がある。④消毒剤の使用については、安全に十分に配慮し、慎重な対応を求める。
屋外広告物取扱い事業		いくぶん問題あり	やり方改善	①屋外広告物設置者の規模等によって対応が大きく変わってくる。長くデフレが続いた現在の社会状況も考慮した上で、今後の対応を検討すべきである。②のぼり旗等は景観にとって大きなマイナスであり、今後、より徹底した対策が必要である。景観の形成は、その都市の文化度に大きく関わってくるものである。市民自身の景観に対する意識をより向上させるような取り組みを強化すべきである。

議会報告会 過去最多423人が参加!!

～皆様のご意見を予算等の審査や市政運営に活用～



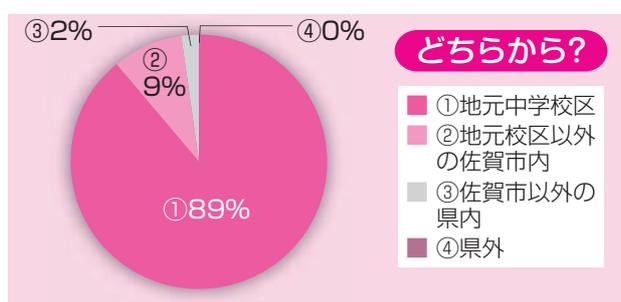
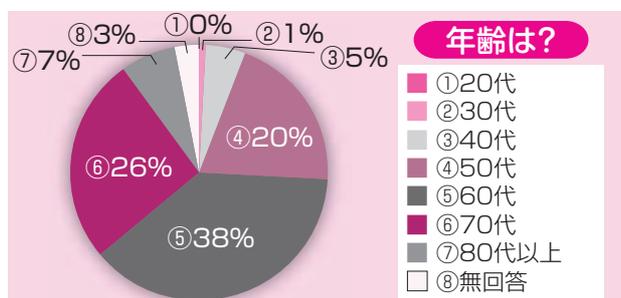
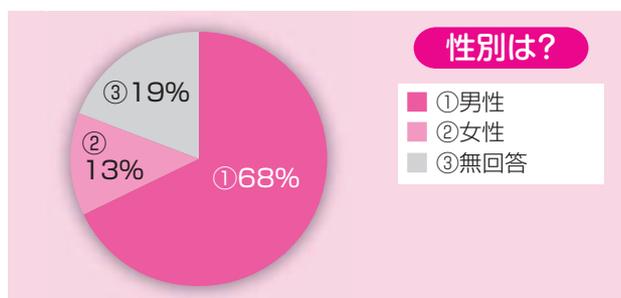
5月11日から6月29日にかけて開催しました「議会報告会」市民との意見交換会では、過去最多423人の市民の皆様がご参加くださいました。本当にありがとうございました。

今年度の参加状況と会場でのアンケートの集計結果は、下のとおりです。

各会場では、活発な意見交換が行われ、たくさんのご意見をいただきました。いただいたご意見等は、ホームページに掲載してまいります。ぜひご覧ください。

平成25年度 佐賀市議会報告会 参加状況とアンケート集計結果

開催日	開始時間	会場	担当班	参加者数
5月11日	13:30	西与賀公民館	7	22
	14:00	赤松公民館	3	39
5月16日	19:00	JAさが松梅支所	2	50
		産業振興会館	3	19
5月17日	19:00	久保泉公民館	2	14
	19:30	新栄公民館	1	25
5月18日	10:00	東与賀農村環境改善センター	6	24
	13:30	若楠公民館	8	27
	14:00	南川副公民館	6	34
		勸興公民館	4	16
	19:00	開成公民館	4	16
19:30	久保田農村環境改善センター	7	16	
5月25日	19:30	巨勢公民館	8	22
6月21日	19:30	三瀬公民館	1	18
6月29日	13:30	蓮池公民館	5	35
	18:30	フォレストあふじ	5	46
合計				423



班 編 成

(◎は各班の代表者)

1班 ◎中山 重俊、川崎 直幸、千綿 正明、武藤 恭博、山口 弘展

2班 ◎山田誠一郎、川副龍之介、野中 宣明、川原田裕明、重田 音彦

3班 ◎堤 正之、野口 保信、福井 章司、黒田 利人

4班 ◎山下 明子、松永 憲明、重松 徹、中野 茂康、亀井 雄治

5班 ◎久米 勝博、山下 伸二、福島 龍一、嘉村 弘和

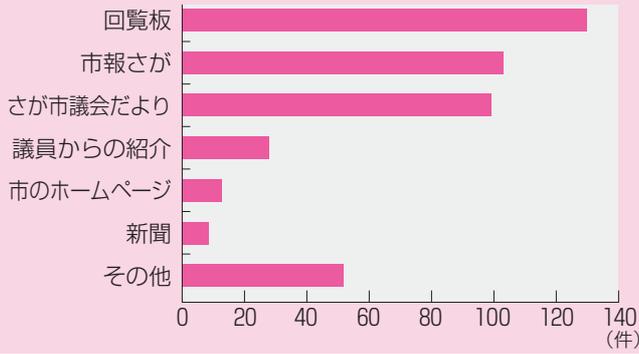
6班 ◎白倉 和子、松永 幹哉、実松 尊信、池田 正弘

7班 ◎西村 嘉宣、田中喜久子、江頭 弘美、本田耕一郎、西岡 義広

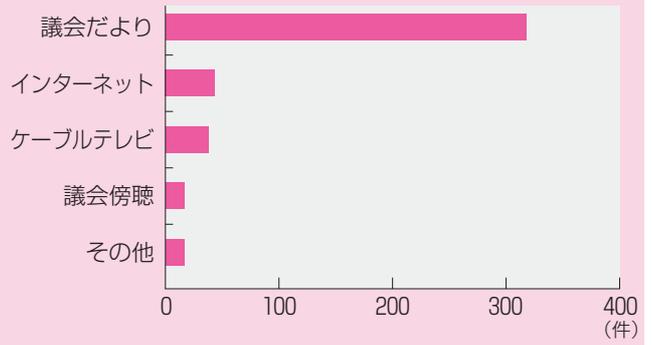
8班 ◎中本 正一、原口 忠則、平原 嘉徳、永瀨 義久

※4 <http://www.city.saga.lg.jp/> の「市議会からのお知らせ」をご覧ください。

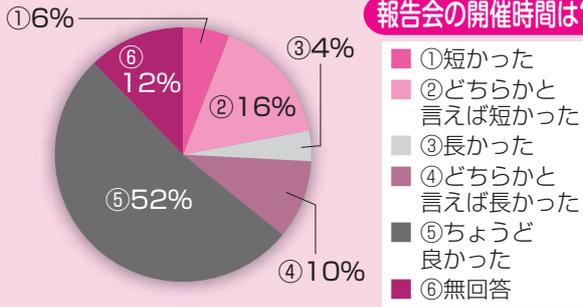
報告会を知ったのは？



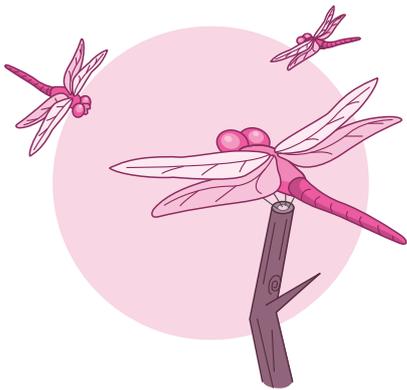
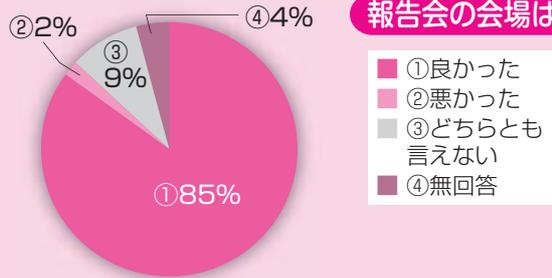
議会情報はどこから？



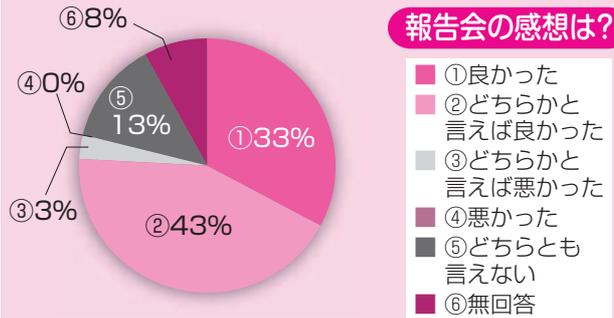
報告会の開催時間は？



報告会の会場は？



報告会の感想は？



全員協議会での報告



意見等の市長への提出

アンケートの活用は？

アンケートでは、議会に対する要望や議会報告会のあり方についてのご意見等もいただきました。

これらのアンケート集計結果は、今後の議会報告会や広報広聴活動がより良いものとなるよう活用させていただきます。

来年度もさらに多くの市民の皆様のご参加をお待ちしております。

意見等の活用は？

意見交換会では、議会に関するもの、市政運営に関するものなど161件ものご意見等をいただき

ました。

このことについて、8月8日に全員協議会を開催し、議会広報広聴委員会から全議員に報告しました。

さらに、全常任委員会では、いただいたご意見等を今後の予算等の審査に活用することが確認されました。

また、市政に対する貴重な提言等も数多く盛り込まれていましたので、8月16日に議長、副議長、議会広報広聴委員会委員長、副委員長から市長にこれらのご意見等を手渡し、今後の市政運営への活用を要請しました。